

令和 7 年度 【五色精光園第 2 成人寮】 地域連携推進会議 議事録

事業所名：五色精光園第 2 成人寮

開催日時：令和 7 年 11 月 11 日（火）11:00～11:20（施設見学）13:25～13:45（会議）

開催場所：五色精光園成人寮地域交流ホール

出席者：利用者代表、保護者代表、児童民生委員、協議会推薦者、市町村担当
施設職員

参加者 計 15 名

会議次第

- 1 施設見学・食事体験
- 2 園長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 施設概要説明
- 5 質疑応答

【意見交換内容】

ご利用者代表

- ・活動に楽しく取り組んでいる

保護者代表

- ・児童寮から続いている活発な活動をこれからも続けていって欲しい。
- ・LINE などを活用してこまめに連絡してもらえるのはありがたい。
- ・食事について、味付け・メニュー共によく考えられていてよかった。

【質疑応答】

Q：利用者同士のトラブルについての再発防止策はどうしているのか。（地域関係者）

A：利用者の相性を考えて、できるだけ相性の悪い利用者同士は離れて過ごしてもらえるように配慮している。また、自身で集中して取り組める活動などを提供できるように考えている。

Q：コロナ以前は町内会などの地域行事にも参加されていたが、今後参加する意向はあるか。（地域関係者）

A：この会議も地域社会とのつながりを強める目的があり、園としても今後、地域の行事に参加するなど利用者の皆さんが地域とのつながりを感じられるような機会を提供していきたいと考えている。

Q：災害時の協力体制について、BCPを策定されているとのことですが、災害時の連携（障害のある方の受け入れや支援の協力）は可能ですか？（地域関係者）

A：この会議を契機に、民生委員をはじめ地域の方との連携を深め、災害時の支援体制についても協力していきたい。

Q：重度の方への意思決定支援のアプローチについてはどのようにされているか
(市町村担当者)

A：言葉で表現できない方については、ご本人の様子（しぐさや表情）から読み取ったり、家族にこれまでの生活歴を聞き取りしたりしながらご本人の意思を読み取ろうとしている。また、希望メニューなど比較的容易な選択からご自身で選択してもらう中で意思の表出の練習をしている。

Q：福祉業界は人材不足だと言われているがそれに対する取り組みは？(市町村担当者)

A：島と言う地域性もあり、人材確保には苦労している。福祉経験のない方をいかに取り込んでいけるかだと考えている。

Q：若い職員たちが話やすい環境作りとして、ヒヤリハットなどの意見が言いやすい話し合いの場を設ける必要があるのではないか。(保護者代表)

A：人員不足もあり、会議に職員が参加できる機会が減っているので、課長などが現場に入りその日いる支援員全員で話し合う機会を持てるように先月から取り組んでおり、今後も継続していく。